

組織



INFORMATION

自給飼料関連情報のご案内

当協会は、飼料増産に関する次のような情報を発信しております。ぜひご利用ください。

●協会ホームページ
<http://souchi.lin.gr.jp>

●情報誌 グラス&シード

飼料増産に係わる情報、調査・研究報告等を定期的に発行



●飼料増産関係資料(販売書籍)

草地開発整備事業計画設計基準、草地管理指標、粗飼料の品質評価ガイドブック等の書籍を販売しています。購入希望の方はホームページ出版物案内からお申し込みください。



一般社団法人 日本草地畜産種子協会は飼料増産運動を推進しています。



飼料増産情報
飼料増産技術情報

飼料作物品種・種子情報
飼料作物の品種・種子、種子証明流通等の情報

技術情報
協会の調査研究報告書、情報誌、リーフレット等

牧場案内
放牧畜産実践牧場、公共牧場、ふれあい牧場等

協会案内・協会行事
協会の行うコンクール等の案内

放牧畜産基準認証制度、助成事業等案内、コントラクター、TMRセンター、ふれあい牧場のコンテンツもご覧下さい。

一般社団法人 日本草地畜産種子協会
Japan Grassland Agriculture & Forage Seed Association

自給飼料基盤に立脚した畜産を推進します。

沿革

一般社団法人日本草地畜産種子協会は、平成12年12月4日に社団法人日本飼料作物種子協会と、社団法人日本草地畜産協会が合併して発足し、平成25年4月1日に社団法人から一般社団法人に移行しました。

社団法人日本飼料作物種子協会は、昭和44年に設立され、飼料作物種子の検査・品種証明や、公的機関で育成された優良品種の海外契約採種、DNA解析等の先端技術を活用した品種育成研究等の業務を行ってきました。

また社団法人日本草地畜産協会は、草地の開発、整備、効率的な粗飼料生産・流通・利用の促進、放牧の振興等を通じて、草地及び粗飼料に立脚した畜産の振興を図ることを目的として、昭和50年に設立された社団法人日本草地協会が平成8年に山地酪農協会と合併して発足した団体です。

飼料基盤に立脚した畜産が、わが国畜産の重要課題のひとつとなっていることから、両協会の一体となった取り組みが必要となり、平成12年に合併し、自給飼料増産等の取り組みを強化しました。

更に、一般社団法人への移行に伴い、国土保全の取り組み等活動範囲を拡充しました。

目的

一般社団法人日本草地畜産種子協会は、草地の整備、効率的な飼料の生産・流通・利用の促進、放牧の振興、飼料作物種子等の品質向上及び優良種子の普及奨励を図る事を通じ、飼料基盤に立脚した畜産の振興及び食料自給率の向上並びに国土の保全を推進し、わが国畜産の発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。

会員

1. 出資会員

地方公共団体

飼料作物種子の生産又は販売を行う者

2. 非出資会員

1号会員(都道府県を区域とする団体)

2号会員(山地畜産振興団体及び放牧振興団体)

3号会員(営利を目的としない全国団体及びその地方組織)

3. 賛助会員

自給飼料の増産

- コントラクター、TMRセンターの育成を図るための研修、情報の収集・提供、コントラクター利用の普及啓発
- 放牧の推進を図るための、放牧畜産基準認証制度の普及啓発、放牧技術の普及及び公共牧場の利用促進のための専門家の派遣・研修等
- 水田における飼料生産の推進及び草地・飼料作物の生産性向上を図るための実証展示ほの設置等の優良品種の普及促進、強害雑草対策の推進及びこれらの普及啓発資料の作成配布等
- 自給飼料基盤に立脚した畜産の情報を消費者に伝えるためのふれあい牧場等に関する情報提供等
- その他飼料基盤の強化に関する事業

飼料作物種子の採種・配布・品種証明

- 優良な飼料作物種子を供給するための検査、品質・品種の証明
- 飼料作物優良品種種子の安定供給を図るための海外契約採種の実施
- 飼料用米、稲発酵粗飼料の生産振興を図るための飼料用稲種子の採種・配布の実施等

草地畜産・飼料作物の調査研究・技術開発

- 飼料増産技術等飼料基盤に立脚した畜産の振興を図るための調査研究
- 優良な飼料作物品種作出のための育種(品種改良)
- 飼料用稲の飼料価値向上等のための調査